

日本教育経営学会 第 57 回大会プログラム

会場 茨城大学 教育学部（水戸キャンパス）
〒310-8512 水戸市文京 2 丁目 1 番地 1 号
期間 2017 年 6 月 9 日(金) ～ 11 日(日)



日本教育経営学会 第 57 回大会実行委員会

ごあいさつ

日本教育経営学会第 57 回大会 実行委員会
委員長 加藤崇英 (茨城大学)

この度、茨城大学水戸キャンパスを会場に、日本教育経営学会第 57 回大会を開くことになりました。少しずつ暑くなってまいります季節ですが、まだ穏やかな気候の時期、ぜひ茨城県に、水戸市にお越しいただければと存じます。

さて、本大会実行委員会では「教職大学院における教育・研究と教育経営学の課題」を公開シンポジウムとして企画しました。今学会大会の開催校である茨城大学は、平成 28 年度に教職大学院を開設した、いわば“新参組”になりますが、教職大学院は、現在では国立 46 大学、私立 8 大学に設置されており、ほぼ全国の地域に跨がる大きなネットワークになりつつあります。教職大学院は、従来の修士課程とは異なり、より実践を重視するカリキュラムを有しています。これまで係わってこられた会員の方々も少なくないと思いますが、理論と実践の関係を探求するという教職大学院の課題は、本学会の課題とされてきているところでもあり、教育経営学の役割は今後も大きくなっていくことと思われまます。本シンポジウムに関しましても、多くの会員の方々に関心をもっていただければと存じます。

また、今大会での自由研究発表のお申し込みは、個人及び共同による研究発表を合わせまして 49 件に達しました。誠にありがとうございます。10 の分科会では、対象・テーマ・分析手法・理論・実践等に関して、大変幅広く、また興味深い発表が予定されております。今日の教育経営に関する成果と課題を探求するうえでこの上ない機会になるかと存じます。さらに大会初日には、若手研究者のためのラウンドテーブルが開かれます。そして、三日目には、研究推進委員会による課題研究と、実践推進委員会による実践研究フォーラムも行われます。プログラムの最後まで、ぜひご参加いただければと存じます。

こうした研究での活発な議論とともに、総会と、引き続いて行われます懇親会にご参加いただき、いっそう交流を広げていただければ幸いです。

末尾になりますが、本大会の準備・運営等に関しまして、ご支援・ご配慮いただきました関係者の皆様方に、深くお礼を申し上げる次第です。ありがとうございました。

第 57 回大会プログラム目次

大会日程および会場	3
大会参加について（ご案内）	4
自由研究発表要領	5
アクセス・キャンパスマップ	6
教育学部 B 棟会場マップ	7
第 1 日 6 月 9 日（金）	
若手研究者のためのラウンドテーブル	8
第 2 日 6 月 10 日（土）	
自由研究発表 1	9
自由研究発表 2	10
自由研究発表 3	11
自由研究発表 4	12
自由研究発表 5	13
公開シンポジウム	14
総会、懇親会	15
第 3 日 6 月 11 日（日）	
自由研究発表 6	16
自由研究発表 7	17
自由研究発表 8	18
自由研究発表 9	19
自由研究発表 10	20
課題研究	21
実践研究フォーラム	22

大会日程および会場

6月9日(金)

12:15~	受付	教育学部 A 棟 1 階
13:00~15:30	紀要編集委員会 研究推進委員会 実践推進委員会 国際交流委員会	教育学部 A 棟 教育学部 A 棟 教育学部 A 棟 教育学部 A 棟
16:00~18:00	理事会	教育学部 A 棟
18:00~20:00	若手研究者ラウンドテーブル	教育学部 A 棟

6月10日(土)

8:15~	大会受付・学会受付	教育学部 B 棟 1 階
9:00~12:00	自由研究発表 1 自由研究発表 2 自由研究発表 3 自由研究発表 4 自由研究発表 5	教育学部 B 棟 2 階 B207 教室 教育学部 B 棟 2 階 B208 教室 教育学部 B 棟 2 階 B209 教室 教育学部 B 棟 3 階 B311 教室 教育学部 B 棟 3 階 B312 教室
12:00~13:15	昼食	
13:15~16:15	公開シンポジウム	教育学部 D 棟 2 階 D201 教室
16:30~17:30	総会	教育学部 D 棟 2 階 D201 教室
18:00~20:00	懇親会	茨城大学 生協食堂

6月11日(日)

8:15~	大会受付・学会受付	教育学部 B 棟 1 階
9:00~12:00	自由研究発表 6 自由研究発表 7 自由研究発表 8 自由研究発表 9 自由研究発表 10	教育学部 B 棟 2 階 B207 教室 教育学部 B 棟 2 階 B208 教室 教育学部 B 棟 2 階 B209 教室 教育学部 B 棟 3 階 B311 教室 教育学部 B 棟 3 階 B312 教室
12:00~13:00	昼食	
13:00~16:15	課題研究	教育学部 B 棟 2 階 B209 教室
13:00~16:15	実践研究フォーラム	教育学部 B 棟 2 階 B207 教室

会員控室	教育学部 B 棟 2 階 B205 教室
学会本部	教育学部 B 棟 2 階 B203 教室
大会実行委員会本部	教育学部 B 棟 2 階 B203 教室
公開シンポジウム打ち合わせ	教育学部 A 棟
課題研究打ち合わせ	教育学部 A 棟
実践研究フォーラム打ち合わせ	教育学部 A 棟

大会参加について(ご案内)

1. 参加申し込みの手順

(1)大会参加・懇親会申込

すでにご案内いたしましたように、今大会でも web にて事前に参加申込のお手続きをお願いしております。まだの方は、下記 URL をご参照の上、至急手続きをしていただきますようお願いいたします。参加申込期限は 5 月 19 日 (金) ですので、ご注意ください。それ以降の参加申し込みは、大会受付にて承りますが、ぜひ事前申込へのご協力をお願い申し上げます。

重ねてのお願いになりますが、同封の葉書でも大会・懇親会へのご出欠をお知らせください。総会ご欠席の方は委任状へのご記入もよろしくをお願いいたします。5月21日(日)までにご投函ください。

大会参加受付サイト URL : https://www.ics-com.biz/well_form/jasea57/entries/add/1

(2)参加費・懇親会費について

大会の参加費、懇親会費は以下の通りです。

大会参加費	正会員 (学生除く) 臨時会員	4,000 円
	学生会員 (常勤の職を有さない学生に限る)	1,000 円
懇親会費 (一律)		4,000 円

(3)宿泊について

各自でのご予約をお願いいたします。水戸駅 (北口、南口)、大工町周辺をお勧め致します。

2. 受付

6月10日(土)、11日(日)の両日とも、教育学部 B 棟 1 階にて、学会受付と大会受付を行います。学会費 (~2017 年度) の納入がお済みでない会員におかれましては、学会受付にてお納めください。

3. 懇親会

日時 : 6月10日(土) 18:00~20:00

会場 : 茨城大学 生協食堂

4. 昼食

6月10日(土)の昼食には生協食堂をご利用いただけます。数は限られますが、学外に飲食店・コンビニエンスストアもございます。6月11日(日)は生協が営業しておりません。事前申し込みに限り、お弁当の予約をお受け致します。大会申し込みと合わせて、上記サイトよりお申し込み下さい。

自由研究発表要領

1. 発表時間

自由研究発表の時間は、以下の通りです。

- (1) 発表者が1名の場合：発表時間 20分＋質疑 5分（計 25分）
- (2) 発表者が複数の場合：発表時間 40分＋質疑 10分（計 50分）
- (3) 共同討議の時間は 25分です。

※ 共同研究の場合にはプログラムのお名前にお印を付した方が口頭発表者になります。

2. 発表機材

会場には、Windows パソコン、プロジェクター、スクリーンを用意しております。使用される場合は、発表当日、データを USB メモリに入れてお持ちください。なお、Power Point をお使いの場合、念のため Power Point 97-2003 バージョンで保存したデータもご準備ください。使用される会員は、6月10日（土）、11日（日）とも、開始時刻の15分前までに会場に来て動作確認をしてください。

3. 発表資料

当日、発表資料を配布予定の方は、不足が生じないように必要部数（各自 70～100部を目安）をご持参の上、該当会場の係員にお渡しください。資料配布机におく形で配布させていただきます。発表直前に大会要員が配布するという形ではありませんので、ご注意ください。

※資料の複写等のご要望には、大会実行委員会としてお応えできません。

※発表資料等の送付はご遠慮ください。紛失等の事故が生じることがあります。

4. 発表の取りやめについて

万一、お申し込みいただいた発表を取り止める場合は、必ず事前に大会実行委員会の下記連絡先までご連絡ください。発表者が欠席の場合は、発表時間の繰り上げはせず、質疑・休憩の時間に割り当てます。

大会前（～6月8日）の連絡先：jasea2017@gmail.com

大会期間中（6月9日～11日）の連絡先：jasea2017@gmail.com または 080-4178-3916（加藤）

5. その他

発表者は、指定発表開始時間にかかわらず、会場の開始 10分前までに司会者に出席を通知してください。

アクセス・キャンパス マップ

○水戸駅から茨城大学まで



JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大前(栄町経由)」にご乗車ください。乗車時間は茨大前営業所バス停まで約25分です。

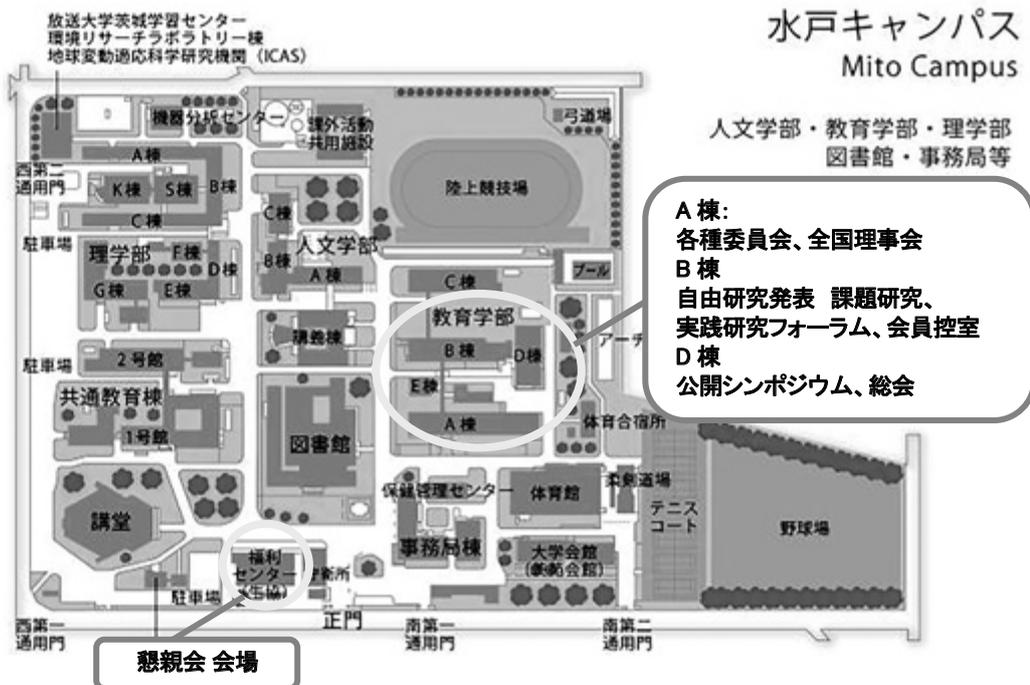
*特に土曜日の朝は、経路中の高等学校が授業日のため、バス車内の混在と通常よりも到着に時間を要することが予想されます。ご注意ください。



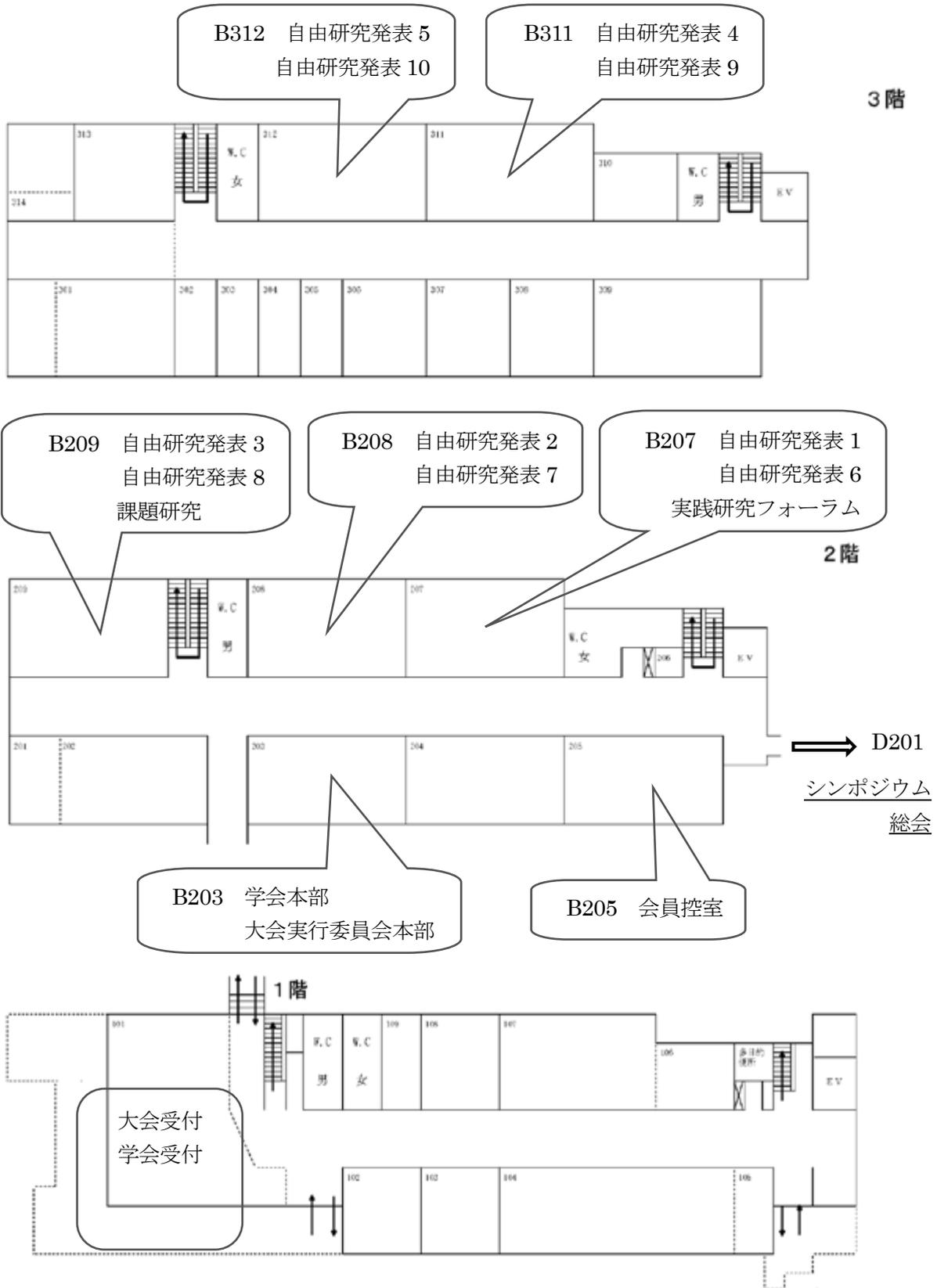
「茨大前」で下車後、123号線の信号を横切り、突き当たりまで直進してください。

教育学部棟は、図書館右手の建物群です。大会受付(土曜日・日曜日)は、B棟にて行います。

キャンパスマップ



教育学部 B 棟 会場マップ



6月9日（金）18：00～20：00

会場：教育学部 A 棟

若手研究者のためのラウンドテーブル

転換期における新しい教育経営学を探究する
—若手研究者が考える新たな研究テーマと課題—

世話人・司会：篠原岳司（北海道大学）、織田泰幸（三重大学）

【趣旨説明】

今日の教育研究および実践は、先を見通すことが難しい複雑かつ困難な時代の転換期におかれている。本学会の今日的関心である教育経営の独立性や教育経営学の独自性を問うにしても、現代の急速な社会変動と AI 等の技術革新を前に学問の存在意義を否が応でも意識せざるを得ない。こうした状況の中、これまでの若手ラウンドテーブルでは、教育経営研究の批判的継承に向けて議論を重ねている。また、教職大学院や学校関係者評価委員など現在の学校や大学の実践現場に身を投じる若手を中心に、研究と実践の往還、そしてそれに関わる研究方法上の探究を続けてきた。加えて、これまでの議論を受けて、学問の独自性や継承発展を超えて、研究とは何か、科学とは何かといった根本的な問いに対する探究も進めている。このような認識から、今後の若手ラウンドテーブルの企画では、これまでの学会の動向や今後の方向性を意識しつつ、若手研究者ならではの自由な視座によって、本学会における新たな研究課題および方法を着想・構想することが必要と考えている。

これまでの当ラウンドテーブルでは、スクールリーダー教育のあり方（例：研究の知識と行動のための知識の関係）、教育経営研究のあり方（例：社会的文脈の考慮、学説史や歴史研究の重要性）、教育経営実践に対する研究者のスタンス（例：高地か沼地か、学校現場との向き合い方）、政策-研究-現場の結びつき（例：教育政策と臨床的アプローチの関連の見えにくさ）、研究の生産性や方法論上の課題（学校現場と関わることによる生産性の低下、現場の文脈・多様性の捨象の問題）、教育経営学の強みや独自性（例：集団・組織および環境や文化の視点、学校の変革や改善のプロセスを捉える視点）、研究における学際性と固有性の問題などについて、報告に基づき議論が行われてきた。

今年度もまた、以上に示す議論の蓄積を土台に、これまでの登壇者とは異なる問題関心や方法論に則って研究を進める若手研究者に話題提供をお願いした。話題提供後は、フロアからの意見を交えてラウンドテーブルを進めていく。研究や職務上の苦労話の交流や一定の結論への導きを目指すのではなく、多くの参加者による自由かつ多様な意見交流によって、これからの教育経営学の在り方について探索的に議論を進めていきたい。

【話題提供者】

1. 教育経営学における比較研究の意義と課題
2. 未定

高橋 望（群馬大学）

金川舞貴子（岡山大学）

（企画・文責：篠原岳司、織田泰幸）

6月10日(土) 9:00~12:00

会場:教育学部B棟2階 B207教室

自由研究発表1

司会 高妻紳二郎(福岡大学) 篠原岳司(北海道大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	学校におけるマネジメントの在り方 —中堅教員におけるマネジメント力の育成— 加藤崇英(茨城大学) ○櫻井良種(茨城県教育研修センター)
9:30~9:55	目標達成型学校経営の充実と組織の活性化をめざす学校教育の「整理」 ○中井義時(山形大学大学院)
9:55~10:20	国立大学附属幼稚園における教員採用人事の現状 ○田子澄子(東京大学大学院・院生/東京学芸大学)
10:20~10:45	秋田県と福井県における学校経営支援体制 ○千々布敏弥(国立教育政策研究所)
10:45~11:35	教員に求められる資質と職能成長に関する考察 —教員としての資質の向上に関する指標策定に向けて— ○山崎保寿(静岡大学) ○齋藤篤(静岡県総合教育センター) ○飯田寛志(静岡県総合教育センター)
11:35~12:00	共同討議

6月10日(土) 9:00~11:35

会場:教育学部 B棟2階 B208 教室

自由研究発表 2

司会 武井敦史 (静岡大学) 柏木智子 (立命館大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	睡眠教育の組織的実践研究 —学校と地域の連携— ○木田哲生 (堺市立三原台中学校)
9:30~9:55	教育委員会と連携した地域の学校支援事例 —「発達障害巡回相談事業」を通して— ○谷山優子 (神戸女子大学)
9:55~10:20	学校におけるソーシャル・キャピタルと主観的幸福感 ○露口健司 (愛媛大学大学院)
10:20~11:10	学校運営協議会設置による地域活性化に関する事例研究 —ソーシャル・キャピタル論の視座から— ○諏訪英広 (兵庫教育大学) ○田中真秀 (川崎医療福祉大学) ○畑中大路 (長崎大学)
11:10~11:35	共同討議

6月10日(土) 9:00~12:00

会場:教育学部B棟2階 B209教室

自由研究発表3

司会 元兼正浩 (九州大学) 織田泰幸 (三重大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	忙しすぎる学校をどうするか —学校改善・業務改善に関わる教職員研修の実践 ○妹尾昌俊 (学校マネジメントコンサルタント、 文科省・業務改善アドバイザー)
9:30~9:55	中学校教員の多忙を受容する意識構造に関する研究 —「良い学校」とされるM中学校の参与観察調査をもとにして— ○長沢泰宏 (足利市立協和中学校)
9:55~10:20	学校組織レジリエンス要因特定の試み —公立高校における調査を通じて— ○福島真治 (東京大学大学院・院生)
10:20~10:45	教師の資質能力の向上と職場環境との関係 ○一之瀬敦幾 (常葉大学)
10:45~11:35	新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位(2) ○浜田博文 (筑波大学) ○安藤知子 (上越教育大学) 山下晃一 (神戸大学) 加藤崇英 (茨城大学) ○大野裕己 (滋賀大学) ○高谷哲也 (鹿児島大学) 照屋翔大 (茨城大学) ○朝倉雅史 (早稲田大学) 高野貴大 (筑波大学大学院・院生)
11:35~12:00	共同討議

6月10日(土) 9:00~12:00

会場:教育学部B棟3階 B311教室

自由研究発表 4

司会 植田健男 (名古屋大学) 末松裕基 (東京学芸大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	東井義雄のつまずきを生かす教育課程経営 —ブルームのマスターリー・ラーニングとの比較を通して— ○齋藤義雄 (東京家政学院大学)
9:30~9:55	学校経営の重点から考案する教科指導改善の試み —Global Can-do List に基づく中学校英語科指導の工夫— ○西田寛子 (赤磐市立吉井中学校/兵庫教育大学大学院・院生)
9:55~10:45	教科専門部会の活性化を通じた内発的学校改善力の発展過程 —A市における小中一貫教育の事例から— ○大類仁 (大田原市立市野沢小学校) ○小野瀬善行 (宇都宮大学)
10:45~11:35	学校の組織化の原理としての「軸的思考」に関する考察 —5・4制の小中一貫教育の学校経営の実践を通して— ○曾余田浩史 (広島大学) ○曾余田順子 ○阿尾剛 (兵庫県小野市立河合中学校) ○大森敏 (兵庫県小野市立河合中学校)
11:35~12:00	共同討議

6月10日(土) 9:00~11:35

会場:教育学部 B棟3階 B312 教室

自由研究発表 5

司会 木岡一明 (名城大学) 雪丸武彦 (大分大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	米国イリノイ州における精神遅滞・精神疾患への教育的対応 —1960~70年代の特別教育 (Special Education) への措置— ○村山拓 (東京学芸大学)
9:30~9:55	韓国の学校における「相談教師」の役割に関する研究 ○張信愛 (筑波大学大学院・院生)
9:55~10:20	スクールソーシャルワーカーに関する一考察 ○國吉正彦 (市原市立八幡東中学校)
10:20~11:10	特別支援教育における多職種連携の課題 —協働・連携をめぐる聞き取り調査に基づいた検討— ○重盛啓仁 (東京学芸大学大学院・院生) ○村山拓 (東京学芸大学)
11:10~11:35	共同討議

6月10日(土)13:15～16:15

会場:教育学部D棟2階 D201 教室

公開シンポジウム

教職大学院における教育・研究と教育経営学の課題

専門職大学院は、科学技術の進展や社会・経済のグローバル化に伴って、社会的・国際的に活躍できる高度専門職業人を養成することが期待されるなかで平成 15 年度に創設された。また、それは、とりわけ「大学院教育実質化」と同時に「社会人教育の牽引役」となるよう、大学改革の大きな課題の一つとなってきたといえる。改めて指摘するまでもなく、教育系については、教職大学院がこの役割を担うかたちで創設された。教職大学院を含む、専門職大学院の拡充・発展は、近年においても「専門職大学院を中核とした高度専門職業人養成機能の充実・強化方策について」(2016 年 8 月 10 日、中央教育審議会大学分科会大学院部会・専門職大学院ワーキンググループ)などで強調されてきた。

今学会大会の開催校である茨城大学は、平成 28 年度に開設された、いわば“新参組”になるが、教職大学院は、平成 29 年度に入って、現在では国立 46 大学、私立大学 8 大学が設置されており、ほぼ全国の地域に跨がる大きなネットワークになりつつある。この間、特に教育経営学を含む、制度・行政・経営・運営等の領域は、もともとの管理職養成の準備段階としての位置づけに止まらず、ミドルリーダー育成、さらには新規学卒者(ストマス)への門戸が開かれているところもある。また、教員養成系大学が、とりわけ県教育委員会との連携構築を課題とするなかで、それまでの県教委との関係、県の研修センターとの協力、学部段階における教員養成の協力など、これらの関係構築における役割期待も高まっている。他方、国立の教員養成系大学における修士課程(教育学研究科等)は、併設を模索している大学もあるが、多くは教職大学院への転換を促されてきている。従来の修士課程と教職大学院とは多くの相違点があるが、講義の有り様や修士論文の有無など、教育・研究の在り方をめぐって大きな相違があるといえる。

上記のように教職大学院は、創設期から拡充期に入ったといえる。これまでも多くの本学会員の方々がここに携われ、関わりを持ってこられている。だが、それはこれまでの教育経営学「研究」において蓄積されてきた「基礎」の上に、土台を接いで建てられた、「実践」重視の「建物」が教職大学院といえるのではなかろうか。これはかつての修士課程(教育学研究科等)の拡充期とは異なるものといえる。このような大きな環境の変化のなかで今後、教職大学院という仕組みは、これからの教育経営学の「学としての持続的な発展」にとって、いかなる意味をもたらしていくといえるだろうか。

シンポジスト

- 教職大学院における教育経営学の学びと実践・・・大竹晋吾(福岡教育大学)
- 学校現場・現職教員研修と研究の役割・・・櫻井良種(茨城県教育研修センター)
- 教職大学院における教育経営学フィールドの発展・・・竺沙知章(京都教育大学)
- 今後の教職大学院の制度改革と教育経営学の課題・・・加治佐哲也(国立高等専門学校機構)

司 会：北神正行(国士舘大学) 加藤崇英(茨城大学)

(なお、内容・各題目等、詳細については調整中です。企画責任：加藤)

6月10日(土)16:30～17:30

会場:教育学部D棟2階 D201 教室

総会

※ご欠席の会員は、同封の葉書にある「委任状」に必要事項を記載のうえ、5月21日(日)までにご投函ください。

6月10日(土)18:00～20:00

会場:茨城大学 生協食堂

懇親会

6月11日(日) 9:00~12:00

会場:教育学部B棟2階 B207教室

自由研究発表6

司会 福本昌之(大分大学) 白井智美(大阪教育大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	K.E.ワイクの多義性のマネジメント論にもとづく学校の危機管理に関する考察 ○田中直哉(石川県立松任高等学校)
9:30~9:55	関与型リーダーを養成するスクールリーダー教育に関する考察 ○山本遼(東九州短期大学)
9:55~10:20	カナダ・オンタリオ州における校長及び教育行政管理職の養成 —校長資格取得のためのPQP及び教育行政管理職資格取得のためのSOQPに関して— ○鈴木久米男(岩手大学)
10:20~10:45	スリランカにおける学校管理職の力量形成に関する研究 —校長の職能開発を促す改善の取り組みに着目して— ○ワルニ・ジャヤラテネ(名古屋大学大学院・院生)
10:45~11:35	校長の資質・能力と職能成長に関する調査研究 ○藤原文雄(国立教育政策研究所) ○諏訪英広(兵庫教育大学) ○露口健司(愛媛大学大学院) 元兼正浩(九州大学)
11:35~12:00	共同討議

6月11日(日) 9:00~12:00

会場:教育学部B棟2階 B208教室

自由研究発表 7

司会 雲尾周 (新潟大学) 湯藤定宗 (玉川大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	米軍統治下の琉球における学校評価実践 —実験学校における取組みを中心に— ○日永龍彦 (山梨大学)
9:30~9:55	米国における教員評価制度の運用実態 —オバマ政権下での連邦政策の影響— ○藤村祐子 (滋賀大学)
9:55~10:20	アメリカの教員養成における Teacher Residency プログラムの位置 ○高野貴大 (筑波大学大学院・院生)
10:20~10:45	ドイツ語圏の教育経営研究動向に関する一考察 ○坂野慎二 (玉川大学)
10:45~11:35	教育経営学研究の国際的潮流 (その1) —米・英・独・中4か国の教育経営関連学会における研究動向に焦点を 当てて— ○高妻紳二郎 (福岡大学) 榊原禎宏 (京都教育大学) 末松裕基 (東京学芸大学) 辻野けんま (上越教育大学) ○張揚 (北海道大学) ○照屋翔大 (茨城大学) ○藤村祐子 (滋賀大学)
11:35~12:00	共同討議

6月11日(日) 9:00~12:00

会場:教育学部B棟2階 B209教室

自由研究発表 8

司会 青木栄一(東北大学) 丹間康仁(帝京大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	新任教員の勤務実態と職能成長 —追跡調査からわかること— ○妹尾渉(国立教育政策研究所) 波多江俊介(熊本学園大学) 川上泰彦(兵庫教育大学) 梅澤希恵(東京大学大学院・院生)
9:30~9:55	学校評価における目標管理が教職員間の協働に及ぼす影響に関するマルチレベル分析 ○佐々木織恵(東京大学大学院・院生/日本学術振興会特別研究員)
9:55~10:20	学校規模・統合経験と教育活動の関係分析 —教員のローカル・ノレッジに着目して— ○貞広斎子(千葉大学)
10:20~10:45	ネットワーク型学校経営を活用した学校改善の取り組みに関する研究 —イギリスのMATを事例として— ○植田みどり(国立教育政策研究所)
10:45~11:35	教育経営とクロススクール —理論の整理と日本・オーストラリアの先進事例の検討— ○末富 芳(日本大学) ○佐藤博志(筑波大学) ○川上泰彦(兵庫教育大学) ○内山絵美子(小田原短期大学) 大野裕己(滋賀大学) 貞広斎子(千葉大学) 田中真秀(川崎医療福祉大学) 本図愛実(宮城教育大学) 本多正人(国立教育政策研究所) 湯田拓史(宮崎大学)
11:35~12:00	共同討議

6月11日(日) 9:00~12:00

会場:教育学部B棟3階 B311教室

自由研究発表 9

司会 榊原禎宏 (京都教育大学) 高谷哲也 (鹿児島大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	オープンプラン・スクールの検証 —中学校の事例を中心に— ○藤原直子 (九州大学大学院 学術協力研究員)
9:30~9:55	小学校の学級経営における若手教員の職能発達プロセスに関する研究 —教育実践者としての自律性の形成に着目して— ○中村映子 (筑波大学大学院・院生)
9:55~10:20	教職大学院生に対する高等学校での指導 ○桑原哲史 (東京都立松が谷高等学校)
10:20~10:45	指導教諭による人材育成 ○押田貴久 (兵庫教育大学)
10:45~11:35	学校における人材育成の現状と課題 —A 小学校のインタビュー調査を中心に— ○菅原至 (上越教育大学大学院) ○松井千鶴子 (上越教育大学大学院)
11:35~12:00	共同討議

6月11日(日) 9:00~12:00

会場:教育学部B棟3階 B312教室

自由研究発表 10

司会 水本徳明 (同志社女子大学) 栗原幸正 (高崎健康福祉大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	ミドル・アップダウン・マネジメントにおける教頭の位置 —高等学校における3年間の実践を事例として— ○畑中大路 (長崎大学)
9:30~9:55	学校組織内部における教職員間のコミュニケーションの実態と課題 —養護教諭を対象とした質問紙調査の分析結果から— ○留目宏美 (上越教育大学)
9:55~10:20	教師の“幸福度”を規定する校内社会関係資本とストレスターの探索 ○高木亮 (就実大学)
10:20~10:45	「職員室文化」の継承による学校づくり推進に関する一考察 ○林孝 (広島大学) 米沢崇 (広島大学) 藤井瞳 (広島大学大学院・院生)
10:45~11:35	公立小・中学校における校務分掌組織の運営に関する研究 —群馬県学力向上コーディネーターを事例として— ○高橋望 (群馬大学) ○井上高広 (群馬県富岡市立黒岩小学校) ○岩崎聡 (群馬県教育委員会) ○平林茂 (群馬県藤岡市立藤岡第一小学校) ○丸山尚子 (群馬県教育委員会)
11:35~12:00	共同討議

6月11日(日)13:00~16:15

会場:教育学部B棟2階 B209教室

課題研究

日本型教育経営システムの有効性に関する研究：新たな学校像における教育の専門性(2)
—システム形成の歴史に着目して—

司会 前原健二(東京学芸大学)・南部初世(名古屋大学)

【課題設定の趣旨】

今期研究推進委員会は、「教育の専門性」に着目し、我が国における教育経営システムの有効性について歴史的、比較的に検証することにより、今後求められる教育経営構造を描き出すことを課題として設定し、共同研究を進めてきている。初年度に当たる昨年度は、担い手(スタッフ)に着目し、教育政策における新たな学校像を確認した上で、アメリカとドイツの事例を参照し、日本型教育経営システムにおける「教育の専門性」を考えていくための示唆を得ることを意図した。

全体討論では、「教育の専門性」の意味や射程の他、教育の担い手(スタッフ)の多様化の問題が取り上げられ、非正規化が進む雇用環境が組織と個人へどのような影響をもたらすのか、組織論にとどまらず財政論として議論されることが必要であり、今後どこまで改革が実施される見通しであるのか等について議論された。このセッションは、今後の共同研究において、システムの構造そのものの究明を含め、トータルに分析する必要性を再確認する貴重な機会となったが、他国との比較により、「日本型学校教育」の課題、とりわけ日本の学校の機能拡大もまた浮き彫りにすることとなった。

そこで今年度は、そうした日本型学校教育のルーツをたどる。生徒指導、学校教育と児童福祉との関わり、教職システムに焦点を当て、どのように今の制度が構築され、学校機能がどう変遷してきたのかを考察し、現在進められている改革の有効性について議論したいと考えている。提案内容は、以下の通りである。

棚野勝文(岐阜大学)：日本型学校教育における生徒指導の所在

—生徒指導に対する認識・解釈の歴史的変遷より—

「いじめ問題」をはじめとする生徒指導は、学校教育で直接その対応が求められる課題領域を拡大している。また、現在の学校教育を考える上で、生徒指導は、無視できない領域といえるであろう。そこで、生徒指導が歴史的に日本の学校教育においてどのようにその所在が認識、解釈されていたのかを紐解くことで、日本型学校教育に関する一考察としたい。

高橋寛人(横浜市立大学)：児童福祉と学校教育の交錯の史的検討

福祉・保健等と学校教育との関わりを歴史を検討する。日本の学校は福祉・保健などの領域の機能を拡張してきた。拡張のしかたには、関係機関との協働の他に、学校給食など学校教育として実施するもの、養護教諭や栄養教諭など特別の教員免許状を設けて学校の職員に担わせる場合もある。2014年の閣議決定「子供の貧困対策に関する大綱について」は、学校を子どもの貧困対策のプラットフォームとして、子どもを福祉的支援につなげることをうたった。2015年の「チーム学校」の中教審答申にそくして、本年3月の学教法施行規則にスクールソーシャルワーカーの規定が置かれた。これからの学校と福祉との関係はどうあるべきか、歴史を振り返って考える。

平井貴美代(山梨大学)：日本型「教職」システムの形成過程

—「官」と民間の雇用システムとの比較分析から—

学校機能の拡張が教職員の多忙化につながるのには、拡張された機能が多職種化ではなく「教職」の役割拡張につながっていることにも原因があるが、「日本型」の特徴ともいえるべき職務内容の無規定性は、企業や「官」のシステムとも共振している。そこで本発表では、他の雇用システムと比較しながら「教職」ならではの特徴と課題を検討する。

6月11日(日)13:00～16:15

会場:教育学部B棟2階 B207教室

実践研究フォーラム

～パートナーシップの推進による研究と実践の相互交流的発展を目指して～

司会 北神正行(国士舘大学)、浅野良一(兵庫教育大学)

報告者 浜田博文(日本教育経営学会会長「研究者から見た相互交流の可能性」(仮))

久我直人(鳴門教育大学)・

高知県香南市立野市中学校教頭 山崎正恭先生「相互交流による学校改善事例」(仮)

安藤知子(上越教育大学)「多様な相互交流と『管理職サロン』の取組」(仮)

【課題設定の趣旨】

研究及び研究者が教育経営の実践への役立ちを考えた場合、研究者と実践者との間の相互交流や、研究と実践の関係を再構築し、研究者が有用性を持った研究知を産出することが不可欠である。そのため、第四期の実践推進委員会は、「学会として、教育経営の実践者、あるいは専門団体との組織的なパートナーシップを推進し、研究と実践の相互交流的な発展を図る」ことに取り組んでいる。

1年目である昨年度は、「副校長・教頭の職務状況に関する調査研究報告書」をもとにして、スクールリーダーとして活躍を期待される教頭の役割や課題意識、そして育成システム等に関して、研究者、教頭の相互の立場から「スクールリーダー・専門職団体とのパートナーシップの推進」と題してフォーラムを行い、今後の相互関係づくりのキックオフを行った。

2年目である今年度は、本実践研究フォーラムを実施することに加えて、相互の大会への参加を行っている。また、パートナーシップ講師派遣事業や地域ブロックにおける教頭会等とのフォーラムの共催も検討している。

本フォーラムでは、「研究と実践の相互交流的発展を目指す多様な出会いの場づくりへの挑戦」をテーマとする。そして、実践報告として、(ア)研究者と学校との連携(教頭によるコーディネート)による学校改善の事例を紹介するとともに、(イ)研究者と学校管理職が自主的に集い、ざっくばらんな話し合い・情報交換の場としての「管理職サロン」を提案する。

この「管理職サロン」は、ひざ詰めの対話ができるような少人数による研究者と学校管理職が、実践の困り感を語り・聞き、実践者である学校管理職が実践の解決のヒントを得ると同時に、研究者は研究課題のヒントをもらう場である。ざっくばらんな雰囲気をつくり、どのような言葉を使えば、状況が共有でき、有益なやりとりができるのかを確認しながら進めたいと考えている。

そこで、フォーラムの後半では、参加いただいている研究者と学校管理職で数人のグループをいくつか作り、「管理職サロン」を体験いただくことも予定している。特に若手の研究者の積極的な参加を期待している。

世界の学校管理職養成

— 一校長を養成する方法 —

篠原 清昭 (岐阜大学教授) 編著

定価2,592 円 (本体2,400 円+税)

A 5 判256 ページ

ISBN978-4-909124-01-2 C3037

- ・先進的に学校管理職養成のシステム・コンテンツを開発実行している諸外国の比較研究
- ・日本の学校管理職養成のシステム・コンテンツの開発モデルを提案

序章 日本の学校管理職養成の課題	6章 イギリスの学校管理職養成
I部 日本の学校管理職養成	7章 ドイツの学校管理職養成
1章 日本の学校管理職養成の歴史	8章 中国の学校管理職養成
2章 日本の学校管理職養成の政策と理論	9章 台湾の学校管理職養成
3章 教職大学院における学校管理職養成	10章 シンガポールの学校管理職養成
4章 自治体と大学の学校管理職養成 (兵庫/岐阜/静岡)	11章 韓国の学校管理職養成
II部 世界の学校管理職養成	III部 世界の学校管理職養成のシステムとコンテンツ
5章 アメリカの学校管理職養成	12章 世界の学校管理職養成のシステム/コンテンツ
	終章 日本の学校管理職養成の開発モデル

テキスト 中等教育実習

「事前・事後指導」

— 教育実習で成長するために —

土井 進 (淑徳大学教授) 著

定価1,620 円 (本体1,500 円+税)

A 5 判152 ページ

ISBN978-4-909124-04-3 C3037

- 教育実習における「観察実習」「参加実習」「授業実習」の実際と、それらを通じて学校現場から何を学ぶかのポイントを提示
 - テキストとしての使用を想定し、各章ごとに課題を設定
- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 「中等教育実習」を受ける前の準備 | 6. 第3週「授業実習」の学びと授業の振り返り |
| 2. 教育実習生としての基本姿勢・心構え | 7. 道徳・総合的な学習の時間・特別活動の学習指導案づくり |
| 3. 教育実習のスタート | 8. 「研究授業」と授業研究会、実習最終日のあいさつ |
| 4. 第1週「観察実習」の学びと学校経営・学級経営 | 9. 教育実習事後指導—教育実習で何を学んだか— |
| 5. 第2週「参加実習」の学びと生徒指導 | |

教員養成・免許制度はどのような観点から構築されてきたか

— 教員養成・免許制度の改正を整理する —

シナプス編集部 編

定価2,268 円 (本体2,100 円+税)

A 5 判108 ページ

ISBN978-4-909124-06-7 C3037

- 昭和63年の免許法改正以降、今日の教員免許制度に至る改正全体を俯瞰し、教員免許制度が目指す方向性を整理
- 各観点について、関連する審議会答申や文部科学省通知等を参考に、その趣旨、改正の推移と目的等を記述

お申し込みは書店または下記発行元までご連絡ください。

発行元 株式会社 ジダイ社

〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町4-17-1-204

TEL : 048-711-1802 FAX : 048-711-1804

エッセンスシリーズ

The Essentials Series

好評
発売中

教職課程におけるテキストとして幅広くご活用頂いております。

新訂版 教育法規エッセンス

— 教職を志す人のために —

B5判 130頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

著者/九州大学大学院教育法制研究室

特別活動エッセンス

— 望ましい人間関係づくりのために —

B5判 88頁 定価 1,905円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

著者/九州大学大学院教育法制研究室

子ども論エッセンス

— 教育の原点を求めて —

～すべての子どもに権利・人権を保障するとは～

B5判 130頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

著者/九州大学大学院教育法制研究室+哲史研究室

教職論エッセンス

— 成長し続けるキャリアデザインのために —

B5判 210頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

著者/九州大学大学院教育法制研究室

次世代スクールリーダーのための ケースメソッド入門



A5判 220頁 定価 2,000円+税

日本教育経営学会実践推進委員会 編

学校組織が日常的に直面する21事例(「校長の専門職基準」準拠)を用いて、スクールリーダーとしての意思決定を疑似体験し、経営判断能力を育成できるケース事例集です。回答例の他に、日本教育経営学会実践推進委員らによるコメントで、決断のための視野を広げます。キーワード解説やコラムも掲載し、自己啓発書としても活用できます。

次世代スクールリーダーのための 「校長の専門職基準」



A5判 248頁 定価 2,000円+税

日本教育経営学会実践推進委員会 編

校長職が専門職であるためには、求められる専門的力量的内容を明確にし、資格・養成・研修等の制度を確立する必要がある。〔2009年版〕はじめにより第1期～第III期実践推進委員会の手による日本教育経営学会「校長の専門職基準」の解体新書。



専門職としての校長の力量形成

A5判 300頁 定価 3,500円+税(予定)

牛渡 淳・元兼 正浩 編

日本教育経営学会が2009年に作成した「校長の専門職基準」を踏まえて、新たなスクールリーダー教育の可能性を理論的・実証的に探る。

第1部 専門職としての校長職の検討、第2部 スクールリーダーとしての力量開発、第3部 校長の力量形成環境の整備で構成された渾身の1冊。

花書院
図書出版

〒810-0012 福岡県福岡市中央区白金2丁目9番2号
TEL.092-526-0287 FAX.092-524-4411



公益社団法人 日本PTA全国協議会

月日()日直

私たち公益社団法人日本PTA全国協議会は、子ども達のより良い教育環境を守ることを目的とした、保護者と教師の会で作る社会教育団体です。
様々な事業を通じて、子どもたちの健全育成と成人教育を行っています。

全国大会事業

教育、家庭教育及びPTA活動の資質向上に資するため、全国から8000人以上の会員が集い、現在の子ども達を取り巻く環境について、学び高め合います



調査・研究、広報事業

子ども達の健全育成及び福祉の増進のため、子どもを取り巻く社会環境に関する調査研究や教育改革についての保護者の意識調査等の調査研究を実施し、その成果を広く情報提供しています



表彰事業

PTA活動の資質向上及び活性化のため、法人の目的に沿って顕著な業績をあげたPTAその他団体及び個人の表彰を行っています。

詳細はホームページをご覧ください
<http://nippon-pta.or.jp/>

いじめ対策

日本PTAは「いじめ根絶」と「いのちの大切さ」を訴え、保護者の責務の周知に努めています



国際社会で活躍できる、次代を担う人材を育成するため、全国から中学2年生の男女が集い研修を行います



国際交流・国内研修
事業

教師の条件 改訂版

授業と学校をつくる力

小島弘道・北神正行・水本徳明
平井貴美代・安藤知子 著

本体2600円
●2800円



日本教育経営学会創立60周年記念出版

「現代の教育経営」シリーズ〈全5巻〉

日本教育経営学会編 A5判並製

- 第1巻 「現代教育改革と教育経営」
- 第2巻 「現代の教育課題と教育経営」
- 第3巻 「教育経営学の研究動向」
- 第4巻 「現代教育経営における研究と実践」
- 第5巻 「教育経営学ハンドブック—次世代型
スクールリーダーへの誘い」

2018年
5月
刊行予定

(※書名は仮題)

教育行政学 改訂新版

勝野正章・藤本典裕 編

本体1800円
●1600円



未来をつかむ学級経営

学級のリアル・ロマン・キボウ

末松裕基・林寛平 編著

本体2100円
●1920円



<講座 現代学校教育の高度化> 学校づくりと学校経営

小島弘道・勝野正章・
平井貴美代 著

本体2500円
●1840円



考える教師 省察、創造、実践する教師

山崎準二・榎原禎宏・辻野けんま 著

●180頁
本体2100円

生涯学習と学習社会の創造

佐藤晴雄・望月厚志・柴田彩千子 著

●176頁
本体2100円

スクールリーダーシップ

小島弘道・淵上克義・露口健司 著

●180頁
本体2100円

学校づくりとスクールミドル

小島弘道・熊谷慎之輔・末松裕基 著

●192頁
本体2100円

緊急出版 どうなる 日本の教員養成

日本教師教育学会 編

本体1400円
●1280円



教師教育テキストシリーズ⑧

学校経営

小島弘道 編

●226頁
本体1800円

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

最新刊

日本最大規模の9万人が学ぶ大学の赤裸々な声が聞こえてくる。
放送大学に学んで—未来を拓く学びの軌跡

放送大学中国・四国ブロック学習センター編著
四六判・並製・三二二頁・二〇〇〇円

現代アメリカの教育・財政・制度・認証評価
アメリカ学校財政制度の公正化
笹沙知章著
A5判・上製・三三八頁・三四〇〇円
アメリカにおける学校認証評価の現代的展開
浜田博文編著
A5判・上製・二〇〇頁・二八〇〇円

「大学教育の実態はどうなっているか—余す所なく語る中で、その未来が見えてくる。」
大学教育の在り方を問う
山田宣夫著
四六判・上製・二四〇頁・二四〇〇円

寺崎昌男他編著
21世紀の大学：職員の希望とリテラシー
四六判・並製・三三六頁・二五〇〇円
大学自らの総合力II—大学再生への構想力
寺崎昌男著
四六判・上製・二六四頁・二四〇〇円

いま改めて大学教育の在り方を考える

篠田道夫著
大学戦略経営論—中長期計画の実質化によるマネジメント戦略
A5判・上製・三六〇頁・三四〇〇円

篠田道夫著
戦略経営III 大学事例集
A5判・上製・三九二頁・三六〇〇円

篠田道夫著
大学戦略経営の核心
A5判・上製・三八四頁・三六〇〇円

篠田教授の3部作。現場で鍛え上げられた鋭い感性から、日本全国の大学へ足を運び直接見た、戦略経営のすべて。〈3巻セット、1万円、送料無料〉
大学経営とマネジメント
新藤豊久著
A5判・上製・二五六頁・二五〇〇円

大学の経営・管理改革の現在

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
http://www.toshindo-pub.com

東信堂

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514
Email tk203444@fsinet.or.jp 【価格税別】

第46回 教育展望セミナー

■大会主題：資質・能力を育成する教育課程の編成と実施

■日程：平成29年8月7日(月)、8日(火)

7日(月) 全体会

教育講演 (インタビュー)：益川敏英先生 (京都産業大学教授、2008年ノーベル物理学賞受賞)

パネルディスカッション「資質・能力を育成する教育課程の編成と実施をどのように進めるか」

8日(火) 分科会

第一分科会 (経営部会)／教科等横断的な視点での教育課程の編成と実施／教育内容と地域の教育資源の効果的な組み合わせによる教育課程の編成と実施

第二分科会 (小学校部会)／各教科における主体的・対話的で深い学び／道徳科の指導計画と授業改善

第三分科会 (中学校部会)／道徳科の指導計画と授業改善／各教科における主体的・対話的で深い学び

■会場：アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
(JR・地下鉄市ヶ谷駅下車、徒歩3分)

■参加費

2日間：14,400円、1日のみ：9,300円 (含資料代)

■お申し込み

ご参加には事前のお申し込みが必要です。ご希望の方は当研究所まで、開催案内をご請求ください。

月刊「教育展望」

毎月1日発行
A5判、448円＋税

2017年 特集

6月号 新学習指導要領で教科はどのように変わるか2

5月号 新学習指導要領で教科はどのように変わるか1

4月号 新学習指導要領への対応

3月号 次期学習指導要領答申を読み解く

「教育展望」臨時増刊

セミナー研究討議資料
A5判、2,381円＋税

No.48 (第45回教育展望セミナー) 2016年7月発行、124ページ

これからの時代に求められる資質・能力～学校教育の質を問う～

No.47 (第44回教育展望セミナー) 2015年7月発行、124ページ

グローバル化社会の学校教育Ⅱ～これからの時代に求められる資質・能力～

研究紀要

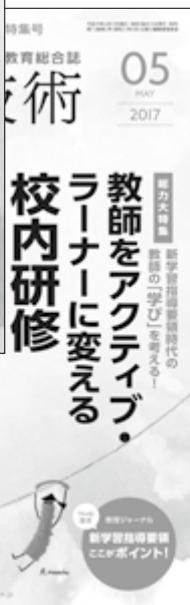
第97号 アクティブ・ラーニング実践上の課題～主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～
(予定) 2017年7月発行、B5判、104ページ、972円＋税

第96号 小・中学校における「カリキュラム・マネジメント」の現状と今後の課題
2016年7月発行、B5判、106ページ、972円＋税

第95号 小・中学校における「アクティブ・ラーニング」の現状と今後の課題
2015年7月発行、B5判、122ページ、972円＋税

第94号 小・中学校の教育課程実施状況の実態と今後の課題
2014年6月発行、B5判、108ページ、1,019円＋税

一般財団法人 教育調査研究所 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
TEL：03-3238-6974 FAX：03-3238-6975 E-mail：chouken@estate.ocn.ne.jp



学校管理職と中堅教師のための教育総合誌

総合教育技術

月刊・毎月15日ごろ発売 小学館

教育行政の最新の動きから
今すぐ役立つ実用情報まで、
毎号、学校現場が本当に知りたい
情報を発信していきます。

年間定期購読キャンペーン実施中!
お買い逃しのない
年間定期購読をオススメします!
年間購読料 13,010円 (税込) (年間12冊)

フリーダイヤルでお申し込み・お問い合わせ (直送・送料無料)

0120・494・656

小学館パブリッシングサービス通信販売係

営業時間/月～金 10:00～19:00 (土曜は 17:00 まで。日曜・祝日は休みです。)

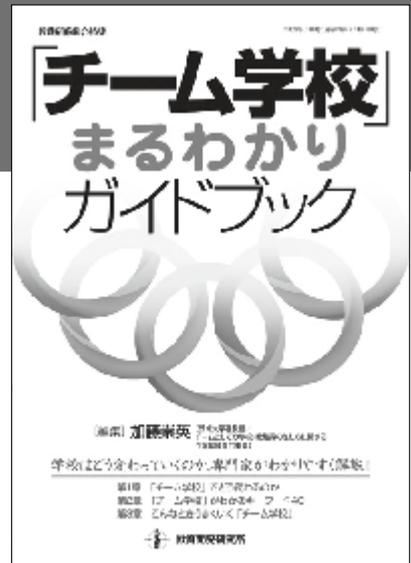
今、校長が押さえておくべきポイント総整理！

「チーム学校」まるわかり ガイドブック

【編集】加藤崇英 茨城大学准教授／チームとしての学校・教職員の在り方に関する作業部会専門委員

- ★「チーム学校」によって、学校はどう変わるのか、専門家がわかりやすく解説。スッキリ理解！
- ★関連キーワードを簡潔に解説。自身の知識整理に、教職員や保護者に対する説明資料等に、すぐに役立つ！
- ★「チーム学校」による問題解決力向上策を提案。先進の成功事例も多数紹介。実践に直結！

好評発売中！ A5判／136頁／定価(本体1,600円＋税)



教育開発研究所 〒113-0033 東京都文京区本郷2-15-13 TEL03-3815-7041 / FAX0120-462-488
ネット注文も可能 <http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp> 教育開発研究所 検索

日常でよく使われる用語を収録し、
多くの用語を示した表記辞典の決定版

用字用語 新表記 辞典 新訂四版



天沼 寧・加藤彰彦 編
B6判・816ページ・並製・ケース入 定価：本体1,700円＋税

- 国語表記の目安となる内閣告示、通知・通達及び文部科学省資料等に基づいて編集した、現代日本語を書くための表記辞典の決定版です。
- 見出し語には、現代表記に必要な約2万6千語を収録し、それぞれに豊富な用例を掲げ、さらに参考表記、言い換え、公用文の表記等を示しました。特に公用文の表記については注釈等も充実、実務の必携書です。

学校経営に関するトラブル対応を
法的根拠に基づき解説！

学校経営の 危機管理

—トラブル対応と法的解説—



編集代表：天笠 茂・加藤崇英
加除式・B5判・全2巻 定価：本体12,000円＋税

- 学校で実際に起きた事例や発生が予想されるトラブル事例を題材に、教育現場の視点から具体的な対応策をQ&A形式で解説！
 - 災害：管理職不在時に地震が起きたら？
 - 職場：教職員の多忙感を解消するには？
 - いじめ：警察への通報の留意事項とは？

商品の詳細、お申込みは [→ 第一法規](#) [検索](#) **CLICK!**



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<http://www.daiichihoki.co.jp>

ご注文はWEBからも承ります。

☎ Tel. 0120-203-694
☎ Fax. 0120-302-640

学校運営

全国公立学校教頭会
編集・発行

この機会にぜひ
定期購読を!

全国公立学校教頭会が編集する
教頭・副校長自身による職能研究月刊誌

■年間基本方針

学校管理職としての教養を核に

1. 国民としての教養
2. 教師、教育者としての専門性
3. 教育管理職としての文化的な教養

■編集方針

- ①教頭としての学校経営の基本理念とその実践を集録する
- ②教頭の専門性を培うための資料を提供する
- ③全国的、世界的視野に立つ研究物を提供する
- ④地区教頭会の交流を図る

購読料 月刊(年12冊)
毎月送付

◆個人購読
(年額3,600円)

◆地区一括購読
(年額3,120円/人)

※平成26年4月号より(送料・消費税含)



申込先: (株)学校運営研究会

〒192-0153 東京都八王子市西寺方町1019-229

【電話】042-652-0141 【FAX】042-652-0129 【E-mail;guk1main@yahoo.co.jp】



特別支援学校のすべてがわかる 教員をめざす あなたへ

監修: 宮崎英憲
編著: 全国特別支援学校長会

最新刊

ISBN 978-4-86371-407-6 B 5 変形判 188頁 本体2,000円+税

教師をめざす方に向けて、特別支援学校の魅力を伝えるべく作成された。各障害種の学校はもちろん、実際の特別支援学校の現場の写真もDVDに収録し、スライドで紹介している。この1冊で特別支援学校のすべてがわかる。



病気の子どもの 教育支援ガイド

編著: 国立特別支援教育総合研究所

最新刊

ISBN 978-4-86371-406-9 B 5 判 140頁 本体2,000円+税

特別支援学校や小・中学校等の教職員、関係機関職員が病気の子どもの一人一人の教育的ニーズについて理解を深め、ニーズに応じた支援・配慮を検討する際のサポートブック。病気の子どもの指導・支援方法に関する必要な情報を、事例を挙げて具体的にわかりやすく、かつコンパクトにまとめた。



5歳アプローチカリキュラムと小1スタートカリキュラム ～小1プロブレムを予防する保幼小の接続カリキュラム～

三浦光哉 編著
ISBN 978-4-86371-402-1
B 5 判 192頁
定価: 本体2,400円+税

新刊

「小1プロブレム」を防ぐために、保育所・幼稚園等から小学校への移行期における接続を重視し、従来の保育課程・教育課程の編成を見直した「5歳アプローチカリキュラム」と「小1スタートカリキュラム」の実践事例を取り上げながら、連携のあり方を提案する。

ジ アース教育新社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 宗保第2ビル
電話 03-5282-7183/FAX 03-5282-7892

E-mail: info@kyoikushinsha.co.jp URL: http://www.kyoikushinsha.co.jp/

日本教育経営学会第 57 回大会プログラム

発行日：2017 年 5 月 8 日

編集：日本教育経営学会第 57 回大会実行委員会

〒310-8512 水戸市文京 2 丁目 1 番地 1 号

茨城大学教育学部 加藤崇英研究室気付

委員長：加藤崇英（茨城大学）

委員：照屋翔大（茨城大学）

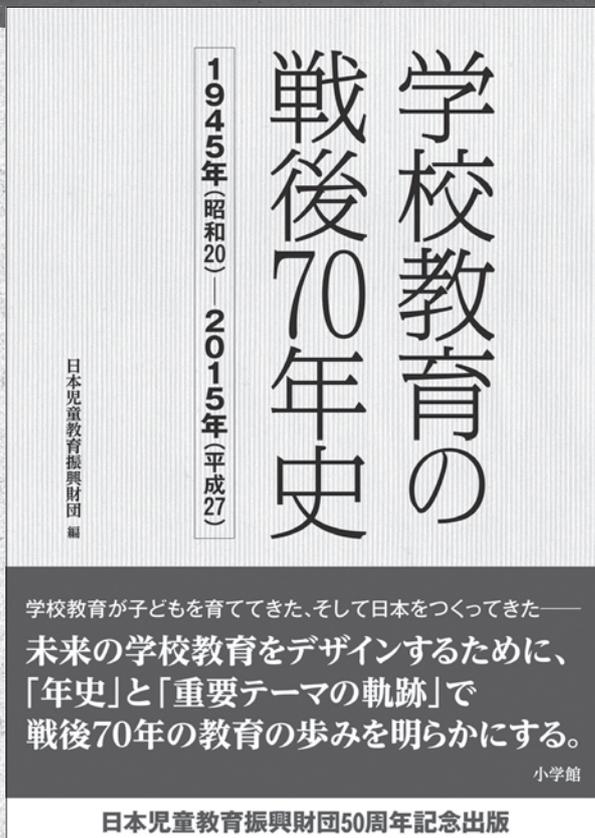
印刷：株式会社コムラ 〒501-2517 岐阜市三輪プリントピア 3

電話 058-229-6022 FAX058-229-6001

日本児童教育振興財団50周年記念出版

学校教育の未来を探る 戦後教育史完成!

好評
発売中!!



学校教育が
子どもを育ててきた、
そして日本を
つくってきた——

日本児童教育振興財団編

編集委員 浜田博文

(筑波大学教授・
日本教育経営学会会長)

加藤崇英

(茨城大学大学院准教授)

- 定価：1,600円+税
- A5判 / 272ページ
- ISBN：978-4-09-840170-3

学校教育の 戦後70年史

1945年
(昭和20)
?
2015年
(平成27)

戦後の学校教育の全体像を「年史」と「重要テーマの軌跡」の2つの軸でとらえました

■戦後教育70年史

1945年(昭和20) — 2015年(平成27)

「教育の出来事がひと目でわかる簡潔な年表」と「教育の重要な動きを的確にとらえた解説」に、世相を知る「時の動き」を加えて、その年の教育を一望する。各年、見開き2ページで構成。

■重要テーマの軌跡

- | | | |
|------------|-----------------|----------------|
| ① 教育基本法 | 10 教職員団体 | 19 開かれた学校 |
| ② 学校制度 | 11 教員の免許と養成 | 20 学校の国際化 |
| ③ 中央教育審議会 | 12 教員の研修と評価 | 21 子どもの学校生活 |
| ④ 教育委員会 | 13 教員の仕事と生活 | 22 情報化と授業改革 |
| ⑤ 学習指導要領 | 14 特別支援教育 | 23 キャリア教育 |
| ⑥ 教科書制度 | 15 学級編制と教職員定数 | 24 道徳教育 |
| ⑦ 学校経営 | 16 学校の施設設備と適正配置 | 25 子どもの生活環境と学校 |
| ⑧ カリキュラム | 17 学校の安全と危機管理 | |
| ⑨ 学力観と教育評価 | 18 学校保健と健康教育 | |

小学館